

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【公表番号】特表 2013-525209 (P2013-525209A)
 【公表日】平成 25 年 6 月 20 日 (2013.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-032
 【出願番号】特願 2013-504894 (P2013-504894)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 47/08 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 47/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 2 日 (2014.4.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体容器に使用し前記液体容器を持ち運ぶための一体型フリップトップハンドルを有する密封装置であって、

先端壁と、

前記先端壁から垂下する周壁と、

前記先端壁に付随する注出開口と、

フリップトップを前記密封装置に枢動的に取り付ける枢動ヒンジ取付け部と、

前記枢動ヒンジ取付け部によって枢動的に支持されているフリップトップであって、前記注出開口がフリップトップによって覆われている第 1 の位置と前記注出開口が露出している第 2 の位置との間を移動可能であるフリップトップと

を備え、前記フリップトップが、

前記フリップトップが前記第 1 の位置に移動したとき前記注出開口を閉止するように構成された閉止部材と、

前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部へ延在し、前記枢動ヒンジ取付け部に枢動的に取り付けられている枢動支持部材と、

前記閉止部材に関し前記枢動支持部材と同じ側で前記閉止部材から延出する担持部材であって、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき前記閉止部材から少なくとも前記枢動ヒンジ取付け部まで外側に向かって延出する遠位端を備え、それによって、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき、前記遠位端に掛けられた上向きの力が、前記閉止部材に掛かる上向きの開口力を生じない担持部材とを備える密封装置。

【請求項 2】

前記担持部材が、前記遠位端を備える担持輪環を具備する、請求項 1 に記載の密封装置。

【請求項 3】

前記遠位端が、前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部を越えて外側に突出し、それによって、前記遠位端に加えられた上向きの力が、前記閉止部材への下向きの力に変換される、請求項 2 に記載の密封装置。

【請求項 4】

前記密封装置が、前記先端壁から延出し前記注出開口を終端とする飲み口を備え、前記飲み口が前記先端壁を貫通し前記注出開口に至る流路を形成する、請求項 2 に記載の密封装置。

【請求項 5】

前記閉止部材が、
筒状の密封壁と、

前記密封壁によって支持された栓状シールであって、前記フリップトップが前記第 1 の位置に移動したとき、前記飲み口の前記注出開口を封止し閉止するように構成された栓状シールと

を備える、請求項 4 に記載の密封装置。

【請求項 6】

前記フリップトップが 2 つの枢動支持部材を備え、そのそれぞれが、前記枢動ヒンジ取付け部の両側に枢動的に係合するように構成されている、請求項 2 に記載の密封装置。

【請求項 7】

前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき、前記枢動支持部材が、前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部へ水平、下向きに延出する、請求項 6 に記載の密封装置。

【請求項 8】

前記先端壁が、前記枢動ヒンジ取付け部の両側に配置された 1 対の固定タブを備え、各枢動支持部材が、前記固定タブの 1 つに選択的に係合するように構成された固定スロットを備える密封装置であって、

前記固定スロットが、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき、前記固定タブに係合し、前記フリップトップが前記第 2 の位置にあるとき、前記固定タブに係合しない、
請求項 1 に記載の密封装置。

【請求項 9】

前記フリップトップが前記第 2 の位置にあるとき、前記遠位端が前記周壁の下端に位置する、請求項 1 に記載の密封装置。

【請求項 10】

前記遠位端が、前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部を越えて外側に突出し、それによって、前記遠位端に加えられた上向きの力が、前記閉止部材への下向きの力に変換される、請求項 1 に記載の密封装置。

【請求項 11】

液体容器に使用し前記液体容器を持ち運ぶための一体型フリップトップハンドルを有する密封装置であって、

先端壁と、

前記先端壁から垂下する周壁と、

前記先端壁に付随する注出開口と、

フリップトップを前記密封装置に枢動的に取り付ける枢動ヒンジ取付け部と、

前記枢動ヒンジ取付け部によって枢動的に支持されているフリップトップであって、前記注出開口がフリップトップによって覆われている第 1 の位置と前記注出開口が露出している第 2 の位置との間を移動可能であるフリップトップと

を備え、前記フリップトップが、

前記フリップトップが前記第 1 の位置に移動したとき前記注出開口を閉止するように構成された閉止部材と、

前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部へ延在し、前記枢動ヒンジ取付け部に枢動的に取り付けられている枢動支持部材と、

前記閉止部材に関し前記枢動支持部材と同じ側で前記閉止部材から延出する担持輪環であって、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部を越えて外側へ延出する遠位端を備え、それによって、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき、前記遠位端に加えられた上向きの力が、前記閉止部材に加わ

る下向きの力を生じる担持輪環と
を備える密封装置。

【請求項 1 2】

前記枢動ヒンジ取付け部での前記先端壁と前記フリップトップとの間の枢動連結の枢動
挺子作用によって、前記遠位端に加えられた前記上向きの力が前記閉止部材に加わる前記
下向きの力に変換される、請求項 1 1 に記載の密封装置。

【請求項 1 3】

前記フリップトップが 2 つの枢動支持部材を備え、そのそれぞれが、前記枢動ヒンジ取
付け部の両側に枢動的に係合するように構成されている、請求項 1 1 に記載の密封装置。

【請求項 1 4】

液体容器に使用し前記液体容器を持ち運ぶための一体型フリップトップハンドルを有す
る密封装置であって、

先端壁と、

前記先端壁から垂下する周壁と、

前記先端壁に付随する注出開口と、

フリップトップを前記密封装置に枢動的に取り付ける枢動ヒンジ取付け部と、

前記枢動ヒンジ取付け部によって枢動的に支持されているフリップトップであって、前
記注出開口がフリップトップによって覆われている第 1 の位置と前記注出開口が露出して
いる第 2 の位置との間を移動可能であるフリップトップであり、前記液体容器を持ち運ぶ
ための担持部材を備え、それによって、前記液体容器が液体で一杯のとき前記担持部材に
よって前記液体容器を持ち運ぶことができるフリップトップと
を備える密封装置。

【請求項 1 5】

前記フリップトップが、

前記フリップトップが前記第 1 の位置に移動したとき前記注出開口を閉止するように構
成された閉止部材と、

前記閉止部材から前記枢動ヒンジ取付け部へ延在し、前記枢動ヒンジ取付け部に枢動的
に取り付けられている枢動支持部材と、

前記閉止部材に関し前記枢動支持部材と同じ側で前記閉止部材から延出する前記担持部
材であって、前記フリップトップが前記第 1 の位置にあるとき前記閉止部材から前記枢動
ヒンジ取付け部を越えて外側へ延出する遠位端を備え、それによって、前記フリップトッ
プが前記第 1 の位置にあるとき、前記遠位端に加えられた上向きの力が、前記閉止部材に
加わる下向きの力を生じる前記担持部材と
を備える、請求項 1 4 に記載の密封装置。